



▲笑顔が優しい関崎和子さん

柏センター生活支援ケアスタッフ 「生活支援サービスは地域に必要な仕事」

関崎さんは、柏センターの生活支援ケアスタッフとして3年。また、子どもと保護者に遊びとランチを提供する子ども食堂「つなぐ・つながるくれよん」を立ち上げ、子どもの居場所づくりにも携わっています。2025 年度で柏センターが閉所することを受けて、ケアスタッフによる団体「たすけあいマカロン」を立ち上げて事業の継続を担ってくれることになりました。ひとつひとつ前向きに考えられる性格で、新しいことにチャレンジしておられると感じます。

Q.生活支援ケアスタッフとして…

郵便受けに入っていたチラシがきっかけでケアスタッフになりました。病院で検査技師の仕事をしながら父親の通院同行を 10 年続けました。それがとても大変だったので、そういうことを支援できると思い込みました。主に通院同行を担当していますが、利用者やご家族への病院での説明など、前職の経験や知識を生かすことができています。仕事柄、人と関わることがあまりなかったのですが、この年だからできる仕事だと思いました。

Q.子ども食堂「つなぐ・つながるくれよん」について…

くれよんは、子ども食堂連絡会や社協からの情報で寄付品をもらって食事を提供するだけでなく、子ども食堂では珍しく「作ってあそび」や「お話し会（読み聞かせ、素話）」、フードパントリーもやっています。当初はどのような背景を持った参加者なのかかわからず、何をすべきかと考えることが多かったですが、でも、いつも一人で来るお子さんも自分でできる事をしてくれるようになったり、まずは見守っていればよいのかなと思っています。



▲毎回 30 食をつくります。



▲作ってあそび「干支のびっくり箱」



▲お話し会「Xmas スペシャル」

Q.「たすけあいマカロン」について…

柏市には多くの生活支援を担う助け合い団体があります。しかし「家族のいる人は利用できない」などの決まりで支援を得られないことも考えられるので、現在の利用者さんが不安なく生活していけるように事業を継続したいと思いました。目指すことは、若い人たちに参加してもらうことです。例えば医療従事者の人たちなども、副業として選んでもらいたいです。きっと本業の参考になるとと思います。

関崎さん、柏の生活支援をよろしくお願いします！

お知らせ

- ◆本紙を送付する際、会員の方には確定申告のための寄付（会費）領収証を同封しています。（既に発送済の方もいらっしゃる）
- ◆生活支援ケアスタッフ(千葉市)を募集しています。詳しくは右の二次元バーコードから →→→→



各センターで人材大募集！
あなたの魅力を貸してください。

● ボランティア ● 参加者 ● 仕事 ● 場所貸出

【八街センター】 Tel 043-440-0181

・風の杜ひろば ● 企画参加者 ● 草取り
● 場所 ● ひろば利用

・子育てサロン ● 参加者
・風のロτζジ ● イベント開催・ロτζジ利用

【千葉センター】 Tel 043-290-8017

・地域食堂 ● 調理や運営スタッフ
・こどもカフェ ● 運営スタッフ
・あみいこ ● 麻雀イラストレーター ● 講座参加
・生活支援サービス ● 仕事 ● ケアスタッフ



街ねっとの地域づくりを
知りたい！
そんな関心が寄せられています

●多様な活動がゆるやかにつながる街ねっとの地域づくり

街ねっどが関わる地域づくりでは、子ども、子育て世代から高齢者まで、さまざまな方を対象とした居場所をつくっています。例えば、あみいこ健康麻雀教室で出会いお友だちになった方々が、地域食堂の常連になる。こどもカフェボランティアがこども体験教室の先生になる…など。居場所やイベントへ参加する側から、ボランティアする側へと活動の幅が広がっていくこともよくあります。



▲JA 共済連・労金協会・こくみん共済 COOP 合同研修会



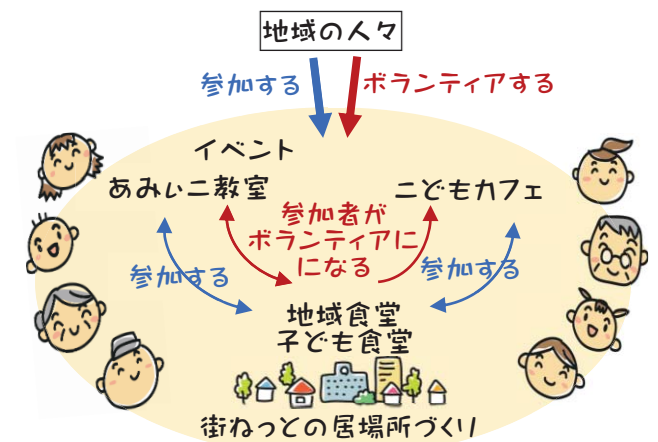
▲韓国・天安(チョナン)地域協同組合・中間支援組織

※ いなげビレッジ虹と風…2011 年に地域包括ケアシステムのモデルとして建設された「暮らしと福祉の複合拠点」。生活クラブ千葉グループはじめ所属する諸団体でつくる運営委員会により企画運営しています。街ねっとは総合窓口を担当しています。



いなげビレッジ HP→

街ねっどの本部事務所のある「生活クラブいなげビレッジ虹と風※」では、毎年、国内は元より、韓国、台湾などからの団体見学を受け入れています。ここ数年はビレッジ見学とは別に、「街ねっどの地域づくりについて知りたい」という依頼もあります。



●支えられる側から、支える側へ

こうした活動は、いなげビレッジ関連団体はもちろん、地域のみなさんの「地域のために何かしたい」という気持ちがあってこそ成り立っています。ボランティア活動を通して仲間と出会い、楽しんで参加していたら誰かの助けになっていたりと、何かで助けられた人が次の担い手になったり。そんなふうを支えたり、支えてもらったりしながらつづいていく地域が、街ねっどの目指す地域共生社会につながっていくとお話させていただいています。(理事長 飯島)

柏センターは今年度で閉所します

柏市光が丘地域で活動してきた柏センターですが、諸般の事情により 2026 年 3 月末日をもちましてセンターを閉じることになりました。関係者のみなさまには、これまでたいへんお世話になりました。4 月からは、地域のみなさんの手で活動を継続していくことになります。詳しくは 4 ページの「人・ひと・ヒト」をご覧ください。

お知らせ



特定非営利活動法人（認定 NPO 法人）

コミュニティケア街ねっど

【発行責任者：飯島 晃子】

〒263-0051 千葉市稲毛区園生町 1107-7
【Tel】043-290-8015 【Fax】043-290-8016
【E-mail】info@ccmachinet.jp
【URL】https://www.ccmachinet.com
2026 年 1 月発行



学校や習い事では得られない体験を通して、 子供たちの自主性・好奇心・可能性をはぐくむ

放課後の居場所「こどもカフェ 3rd プレイス虹」では、これまで夏休みの3日間「こども夏休み教室」を開催してきました。今年度は約月1回のペースで6つの体験教室を開催しました。

近隣4小学校から1～6年生のべ140人の参加があり、はじめての体験に、子どもたちのイキイキした表情をたくさん見ることができました！

2025こども体験教室



「地域の子どもは地域で育てる」

さまざまな分野で活躍する地域住民が、先生やボランティアとして関わりました。子どもたちは、教室に参加することで地域の大人たちに出会い、見守られながら新しい体験をすることができました。参加した地域活動サークルのメンバーからは、地域での活躍の場、仲間づくりになったと満足の声も聞かれました。この多世代交流を通して、「地域の子どもは地域で育てる」という、支えあう地域づくりの一歩が実現しています。

茶道教室



6/28(土)・7/26(土) 2回連続講座 24人参加
【先生】佐藤キヨ子さん
【ボランティア】あみいこサークル紫陽花の会メンバー

茶道を通じて、日本の伝統文化や礼儀作法を楽しく学びました。お抹茶がおいしくて、今年のこども夏休み教室のときから何度も参加してくれている子もいました。



▲苦～い。でもおかわり！



▲茶せんで自分のお茶を点てます



▲興味津々にいろいろ質問

和太鼓教室



7/6(日)・8/3(日) 2回連続講座 28人参加
【先生・ボランティア】和太鼓いぶきのみなさん

和太鼓の基本動作を体験し、2日間の練習で『勇駒(いさみこま)』という曲を完成しました。

演奏の動画

↓↓



▲声を合わせて「エイヤー！」



▲手取り足取り指導



ドンコドンコの楽譜で覚えよう▲



水彩教室



5/10(土)・5/31(土) 2回連続講座 38人参加
【先生】松本正人さん
【ボランティア】あみいこサークル水彩メンバーほか

水彩画の基本技法「スクリブル(なぶり描き)技法」で、自由な発想と感情表現の楽しさを体験することで、創造力と自己表現力を育みました。



▲だんだん夢中になっていきます。



▲出来上がった絵をみんなで見て先生がコメントします



8/9(土)・8/30(土) 2回連続講座 22人参加
【先生】松本正人さん
【ボランティア】地域住民、学生ほか

自分の好きなものから発想し、イラストと文字を合わせた自分だけのロゴマーク(シンボルマーク)をつくり、シールにしました。



▲困ったら先生がアドバイス



▲自分のロゴマークをプレゼンします



▲ロゴづくりに熱中！

音楽教室



11/30(日)・12/14(日) 5人参加
【先生】ピアノゆうゆう塾のみなさん
【ボランティア】地域住民

「カップスでリズム♪ベルでメロディ♪音遊びで音楽体験ワークショップ」音を感じ、仲間と協力しながら奏でる音楽が楽しくて、アンコールの声！



▲手話で歌います



▲楽譜がよめなくても弾けちゃう



▲手を叩きながらカップス楽しい！

ピアノと
ハンドベルの
演奏動画
↓↓

